

e-dream-s 通信

No. 125 発行：2011 年 11 月 12 日 特定非営利活動法人 イー・ドリームズ

e-dream-s 通信 11 月号をお届けします。

目 次

- | | | |
|----------------|-------|---------|
| 1. 嬉しい報告が続きます！ | 中川 房代 | p. 2～3 |
| 2. 凡人以上天才未満 | 辻 莊一 | p. 3～4 |
| 3. ドイツのインパクト | 井川 好二 | p. 5～12 |
| 4. 未来への架け橋 | 塚本 美紀 | p.13～14 |
| 5. 旧友との再会 | 山田 昌子 | p.15～16 |



モンゴル高原に冬が訪れるのは10月頃。北風が冷たくなり、雪が舞い始める。11月になれば氷点下20度になる。乾燥しているのだから寒さの割には積雪は少ない。家畜は雪の下のわずかな草を食べる。(2001.11 井村 康雄氏 撮影)

嬉しい報告が続きます！

中 川 房 代

先月の「e-dream-s 通信・10月号」では、10月1日に行われたカンボジア・Akkak Moha Sena Bakdey Dejo Hun Sen Batheauy School での教科書贈呈式の速報記事が紙面を飾りました。これは、e-dream-s 設立当初からの夢であり目標であった「教育支援事業」への記念すべき第一歩でした。私たちが支援した教科書が贈呈された瞬間でした。

1ヶ月が経ち、今号ではまた新たに、2つの嬉しい報告があります。

1つは、来年2月に開かれる「CamTESOL 2012 (カンボジア英語教育学会)」での発表です。9月に e-dream-s・ACROSS から、2本の発表を応募していましたが、2本とも採用通知が届き、学会での発表ができることとなりました。これで2008年から6年連続の参加になります。発表される方は今後本格的に準備を進めて行くこととなりますが、皆さんでしっかり応援、サポートしていきましょう。

発表のタイトルと発表者は以下の通りです。(敬称略)

(1) "The Internet Use and e-mail Communication in English by EFL Teachers"

(井川好二・Brian Nuspliger)

(2) "Establishing a Model of English Pronunciation for NNS"

(灰田穰・佐藤由美子・室山佳子)

CamTESOL の前後には学校訪問なども企画中です。近日中に、「CamTESOL2012 ツアー」の参加者を募集しますので、奮ってご参加ください。

その2月に開かれる CamTESOL のホームページがリニューアルされています。

<http://www.camtesol.org/>

2012年のカンファレンスのPlenary Speakersの紹介を始め、前日のEducational Site Visitsの訪問先の案内など、着々と準備が進んでいるようです。私たちの友人のChea KagnarithさんもFeatured Speakersとして紹介されています。

もう1つは、担当の仙崎さんからもお知らせがあるかと思いますが、e-dream-s のサイトの中に、「カンボジア教育支援事業 SEEC (Supporting English Education in Cambodia) 教科書支援プロジェクト」のページができたことです。10月1日に行なわれた教科書贈呈の式典の様子を、たくさんの写真とともに紹介

しています。写真を見ていると、式典に出られなかった私たちにも、その式典での熱い思いや子どもたちの歓声が伝わってきます。

教科書の支援をしてくださった皆さん、ありがとうございました。今後も、SEEC 事業を拡大し、報告のページもどんどん増やしていきたいと思えます。SEEC のページのアドレスは以下の通りです。ぜひ、アクセスしてみてください。

<http://www.e-dream-s.org/seec-j.html>

凡人以上天才未満

辻 莊一

天才は画期的大発明をする。前代未聞の大発見をする。凡人がするのは思いつきだ。思いつきの大半はくだらないことで、結構いいことを思いついたとしても実現することはまあ、ない。

e-dream-s は天才集団ではもちろん、ない。凡人集団である。当たり前である。人類の 99% は凡人なのだから。ただ、この凡人集団はなにか凡人以上のことをやろうとしている。凡人なりに社会に貢献しようとしているのである。まあ、なんということか。自分の生活だけで汲々としているのに、大風呂敷である。大真面目の大風呂敷である。

いくら大真面目でも、凡人なので何をするかを決めるのが大変である。いろいろアイデアを練るが、なにしろ凡人なので、画期的なアイデアなどでない。わりと平凡な思いつきがでるだけである。

さて、先ごろ亡くなったアップル社の元 CEO スティーブ・ジョブズであるが、彼は天才の誉れ高い。ジョブズが世に送り出した製品の主だったものだけでも、世界最初のパソコンは諸説あるが、世界最初のパソコン Apple I、キーボードでコマンドを打ち込むのではなくマウスで画面を操作する最初のパーソナルコンピュータ Macintosh、何千曲も持ち歩ける音楽プレーヤ iPod そして、最近の iPhone、iPad。

しかし実はこの中に画期的大発明といえるものは一つもない。世界最初のパソコンは米国の MITS 社 (Micro Instrumentation and Telemetry Systems) が 1974 年 12 月に開発した「Altair 8800 (アルテア 8800)」だと言われているし、マウスと GUI(Graphical User Interface)も、ダグラス・エンゲルバートによって実用化されていた。iPod や iPhone、iPad で使われているタッチパネルなどの技術もなんら革新的なものではなく、すでに知られていたものを寄せ集めた製品ばかりなのである。しかし、これらの技術をユーザに愛される形にまとめ上げ、一般化し広めたのはスティーブ・ジョブズであることは、間違いがない。ジョブズの天才はそこにあるとっていいだろう。しかし技術や製品はそれこそ使われてなんぼだから、だからスティーブ・ジョブズの功績が発明者より劣るなどとは言えないのである。

さてこれは天才レベルの話。私達凡人は画期的大発明やすごい思いつきからは縁遠い。だから今回のカンボジアでの教科書贈呈だって、そんなにすごいアイデアというわけではないのである。今までに思いついた人もたくさんいるだろう。しかし、思いつきのために、長期にわたって人間関係を築き、何度も実態調査し、辛抱強く現地とのやり取りをするということは、凡人にはできない。そして、実際にそれをやり遂げてしまうやる気とエネルギーと継続力は、凡人のものではないのである。

普段の仕事を立派にやり遂げることで立派な社会貢献である。凡人はそれだけで褒められていくらいである。しかしそこで満足せず、凡人以上を目指す e-dream-s は、とうとう凡人以上天才未満の領域に足を踏み入れたのである。

ドイツのインパクト

井川 好二

再婚してドイツのエッセン¹に住んでいる高校時代の友人のMが、ドイツ人の夫を連れて一時帰国すると云うので、そのころ仲良かったクラスメートで、都合のつく連中が何人か大阪のイタリア料理店に集まって、急ごしらえの同窓会。



ドイツ・フランクフルトの旧オペラ座²

昼間からワインを飲みながらの会話は、もっぱら英語で進んでいく。むろん、英語とドイツ語は従兄弟同士くらいに近い。

ドイツ人の夫君とは初対面。60代半ばの火山学者で、いかにも謹厳実直なドイツ人と云う感じがする。ちなみに、火山学は英語で、Volcanologyと云う。日本人の火山学者に知り合いはいないし、理科系の人間と話すこともあまりないので、こういう「異文化間コミュニケーション」は新鮮である。

¹ エッセン【Essen】ドイツ北西部、ノルトライン - ヴェストファーレン州、ルール工業地帯の中心都市。重工業が発達。クルップ財閥の根拠地。人口 60 万（1999）。【広辞苑第六版】

² <http://ja.wikipedia.org/wiki/フランクフルト・アム・マイン>



噴火するエイヤフィヤトラヨークトル氷河の火山³

火山の探査のため、ニュージーランドやハワイなど世界各地へ出かけ、現地でキャンプを張る。中国四川省の九寨溝⁴の奥地でも、火山活動の調査に1ヶ月滞在したと云う。去年はエイヤフィヤトラヨークトル氷河火山の噴火⁵調査のために、アイスランドへでかけた。

日本での調査もよく行っているようで、北海道から九州まで、有名な火山はたいていカバーしている。学問的には全く分からない分野だが、足を使った地道な現地調査が、綿密に行われている様子。成果を期待したい。

今回の一時帰国では、東北大地震の被害状況を夫婦で視察したと云う。

高校時代のクラスメートで、木材関係の会社社長をしているSは、このドイツ人火山学者とすっかり意気投合し、

「やっぱり、ドイツ人とは気が合うな。今度、戦争するときは、イタリア人抜きでやりましょう」

³http://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/d/d6/Eyjafjallajokull_volcano_plume_2010_04_18.JPG

⁴ 九寨溝（チウチャイゴウ）の自然景観」世界遺産登録日：1992年 遺産種別：自然遺産 遺産所在地：四川省。九寨溝は、四川省の北部、南坪県の岷山山脈の奥深いところに位置し、総面積は約6万ヘクタールにわたる。風景区は、樹正溝、則查窪溝という3つのY字型の峡谷により構成されおり、全ての長さを合わせると60キロほどになる。手つかずの原生林の中に大小108の湖、泉、滝などが分布しており、その自然が織り成すエメラルドグリーンの世界はこれまでの中国に対するイメージとは全く異なり、カナダやスイスの景色を思い起こさせ、まさに秘境である。湖の透明度の高さは、岩に含まれるカルシウムの影響で、その鏡のように反射する湖面はこの世のものとは思えない美しさだ。

<http://www.arachina.com/heritage/jiuzhaigou/>

⁵ The 2010 eruptions of Eyjafjallajökull were volcanic events at Eyjafjöll in Iceland which, although relatively small for volcanic eruptions, caused enormous disruption to air travel across western and northern Europe over an initial period of six days in April 2010. (Wikipedia)

などと、云い出す。お世辞半分にはちがいないが、第2次世界大戦時の「日独伊三国同盟⁶」のことを指して、イタリアのムッソリーニ⁷は早々と連合国側に降参してしまったが、ドイツも日本もそれに屈せず戦い続けたことで、イタリア抜きで戦ったほうが勝ち目があると云う理屈である。ドイツ人も「ヤァー、ヤァー」とご満悦。

それぞれにはあるが、日本もドイツも敗戦後たくましく復活し、世界の経済大国の立場を築いた。

「車もやっぱり、日本車かドイツ車」と、最近トヨタのクラウンから、BMW⁸に乗り換えたSが云う。

イタリア好みの私としては、いささか聞き捨てならない。そしてなにより、皆が旨い料理にワインを傾けつつ、楽しい会話が弾んでいるこのレストランは、私が行きつけのイタリアンなのである。ザウワークラフト⁹にビールじゃこうは行かないだろう。



イタリア南部の都市Lecce¹⁰の街並(映画“Mine Vaganti”より)

イタリア最良の私としては、あれこれ言いたくなるのだが、日独合作に大きく傾く会話に、主催者として社交上なすすべもないのである。やれやれ。

そこで、最近見たイタリア映画を頭のなかで反芻し、ささやかな抵抗を試みる。とはいえ、露骨に心

⁶ 【日独伊三国同盟】な 1940 年 9 月、第二次大戦中の枢軸国であった日本・ドイツ・イタリア三国が締結した軍事同盟。日独伊防共協定を発展させたもの。米英との対立激化を招き、太平洋戦争の一要因。三国の敗戦により解消

[株式会社岩波書店 広辞苑第 6 版]

⁷ 【Benito Mussolini】イタリアの政治家。初め社会黨員、1919 年「イタリア戦士のファッシ」を組織、21 年全国ファシスト党を結成、22 年政権を掌握してファシスト独裁体制を樹立。36 年エチオピアを併合、40 年連合国に対して宣戦、43 年連合軍のシチリア上陸後、失脚。北イタリアのドイツ軍占領地域で再起をは

かったが、パルチザンに銃殺された。(1883～1945) [岩波書店 広辞苑第 6 版]

⁸ BMW [Bayerische Motoren Werke] 【名】((商標))BMW《ドイツの BMW 社製の各種の高級車 ; ((米略式))では Beamer, Beemer ともいう》.[ジーニアス英和大辞典 株式会社大修館書店]

⁹ ザウアークラウト【Sauerkraut ドイツ】ドイツの漬物の一種。キャベツの細切りを薄塩で漬け、自然発酵させたもの。【広辞苑第 6 版】

¹⁰ Lec·ce 【名】レッツェ《イタリア南東部プーリア(Apulia)州の都市 ; 古代ギリシア・ローマの遺跡がある》[ジーニアス英和大辞典 株式会社大修館書店]

ここにあらずとなつてはいけない。適当にドイツ賛歌に合唱しつつ、心はイタリア万歳の、面従腹背¹¹。

しかし、よくよく考えてみると、イタリア車にそそられてはいるものの、買ったことはない。選ぶ車はたいいてい日本車。今乗っている車は、スウェーデン製のVolvo¹²。アメリカで乗っていた車も、スウェーデン製のSAAB¹³。やはり信頼性。

村上春樹¹⁴がローマに住んでいた頃、イタリア車ランチャ(Lancia)¹⁵を購入し、オーストリアの山中で故障して散々な目にあつた話を、かつて読んだからかも知れない。

まあたしかにそうかもしれない。堅実にフォルクスワーゲン・ゴルフ¹⁶を買っておけばよかつたのかもしれない。僕がランチャを買うとき、イタリア人を含めて多くの人がイタリア車を買うのはよした方がいいと忠告してくれた。でも僕は好奇心半分でイタリア車を買ってしまったのだ。いったいどういうものなのかと。(p. 474)

ドイツへはたった一回しか行ったことがない。それも、地中海のマルタから日本へ帰る帰国便がルフトハンザで、フランクフルトで乗り換えとなつたための1泊のみ。結構長い期間滞在したことのあるイギリスやイタリア、何回も訪問しているフランスに比べると、ドイツはヨーロッパの中心的な国としては、まことに馴染みがない。

最近アメリカの経済誌“*Forbes*”¹⁷が、今年世界を動かした70人(The most powerful of 2011)¹⁸を発表した。現在の世界人口が約70億人であるので、1億人を代表する1人と云う意味で、70人なのだそうである。

1位はアメリカ大統領オバマ氏、2位はロシアのプーチン首相、3位は中国の胡錦濤主席。アメリカの雑誌であることを考えれば、ここまでは順当と云えば順当な人選。次いで、4位にドイツの女性宰相であるメルケル(Angela Merkel)首相が入っている。ギリシャやイタリアの経済危機が深刻化し、ユーロ圏の立て直しは、ドイツにかかっていると、そのリーダーシップを期待されてのことだろう。

¹¹ 表面は服従するように見せかけて、内心では反抗すること。【広辞苑第6版】

¹² Volvo 【名】(複～s)((商標))ボルボ《スウェーデンの自動車メーカー；同社製の車》[ジーニアス英和大辞典 株式会社大修館書店]

¹³ Saab サーブ《スウェーデン Saab - Scania 社製の自動車》.[(Swed) Svenska Aeroplan Aktiebolaget = Swedish Aeroplane Company][リーダーズ+プラス V2]

¹⁴ 村上春樹 (1990)「遠い太鼓」東京：講談社

¹⁵ Lancia ランチャ《イタリア Lancia 社製の乗用車；Lancia 社は 1969 年以来 Fiat グループの一員》[Vincenzo Lancia 同社の創立者でレーシングドライバー][株式会社研究社 リーダーズ+プラス V2]

¹⁶ ゴルフ (Golf) は、ドイツの自動車メーカー、フォルクスワーゲンのハッチバック型自動車。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/Forbes>

¹⁷ フォーブス (Forbes) は、世界有数の経済誌である。フランス系の B.C.フォーブス (w:B. C. Forbes) が 1917 年に創刊した月刊誌で、アジア版など地域別に発行するものや日本版を含めて7つの言語で発行されている。毎年3月に世界長者番付を発表している。また、その他様々なランキングの編纂でも知られている。<http://ja.wikipedia.org/wiki/Forbes>

¹⁸ <http://www.forbes.com/powerful-people/list/>

ちなみに、5位はマイクロソフト社の創業者ビル・ゲイツ氏。6位にサウジアラビア国王、7位はローマ法王、8位アメリカ連邦準備銀行議長。9位には、Facebookの創設者 Mark Zuckerberg が27歳の若さでランクインし、10位は、イギリスの首相、キャメロン氏。

Forbesの選考基準¹⁹は4つ：

- (1) そのリーダーが何人の人々に影響を及ぼしているか。宗教関係者なら信者の数、会社経営者なら従業員数。
- (2) そのリーダーがどれだけの財力をもっているか。経営者なら会社の収入、国のリーダーならその国のGDP²⁰。
- (3) そのリーダーが複数の分野で影響力を持っているか。
- (4) そのリーダーが自分で自分のパワーを創りだし、今も現役としてパワーを創り続けているか。

日本人でこのトップ70にランクインしたのは、3名のみ。日銀の白川総裁が36位、ソフトバンクの孫正義社長が60位、就任間もない野田首相が62位。国際的に見て、これが日本の実力と云うことでもないが、リーダーシップの欠如は否めない。そう思うと、メルケル首相の4位は、ドイツの底力を示していると思える。

日本人がヨーロッパを学ぶことの大切を、歴史学者の増田四郎²¹は次のように書いた。

日本の近代化のなかで、われわれの血となり肉となったある種の要素が、ヨーロッパの文物のなかにあつたわけである。それを栄養とし、刺激として、日本の近代化がなし遂げられたことは、どうしても否定できない。(p. 4)

さらに、そのヨーロッパの基本要素として、次の3つを挙げる。(1)ギリシャ・ローマの古典文化の伝統、(2)キリスト教、(3)ゲルマン民族の精神。ドイツはそのゲルマン民族の本拠地である。

「ドイツって、イギリスへも意外と近いのよ」とMが云う。60年代のはじめ、本格デビュー前のビートルズが、ハンブルグ²²へ出稼ぎに来ていた。

思えば、去年大学を卒業した私の下の娘は、DHL²³と云う外資系の運送会社に就職をしている。DHLは

¹⁹<http://www.forbes.com/sites/michaelnoer/2011/11/02/the-worlds-most-powerful-people/>

²⁰国内総生産 gross domestic product ; GDP 経済全体の総産出額から、二重計算を避けるために、原材料その他の中間投入物の価値額を引いたもの。したがって、居住者である生産者すなわち国内に所在する企業、政府および対家計民間非営利団体の創り出した付加価値の総計である。[有斐閣経済辞典第4版]

²¹ 増田四郎 (1967) 「ヨーロッパとは何か」東京：岩波書店

²² ハンブルク 《ドイツ北部の、Elbe 川に臨む市で同国最大の貿易港, 170 万; 一州をなす; 14 - 15 世紀ハンザ同盟 (Hanseatic League) の中心》[リーダーズ+プラス V2]

²³ DHL (ディーエイチエル) は、航空機を主体とした国際宅配便、運輸、ロジスティクスサービスを扱うドイツの国際輸送物流会社。本社、ドイツ・ボン。事業展開国・地域数 228。ドイツ国内および国外の宅配運送、ロジスティクスサービス等を複数社体制で提供する世界最大の国際輸送物流会社で、現在はドイツポストの傘下となっている。ドイツポストがドイツ国内郵便事業を担当し、DHL が国際宅配・

米国カリフォルニアで創業したが、現在はドイツの郵便会社Deutsche Postの傘下であり、本社はドイツのボン²⁴にあると云う。

ドイツ侮るべからず。

「コージもしょっちゅう海外へ行ってるんやて。今度、ドイツへおいでよ！案内するし。コージが好きそうなのは、やっぱりベルリン²⁵かな」



ハンブルグ時代のビートルズ²⁶

と M が云う。私のことを「コージ」と呼ぶ日本人は、この仲間しかいない。そやそや、今度の同窓会はドイツでやろうと、S が言い出す。

昔よく聞いた Miles Davis のアルバム、1964 年にドイツ・ベルリンで行ったライブのレコード *Miles in Berlin* の中の一曲、"Autumn Leaves" が聞こえてくるような気がした。

そのうちドイツ同窓会も悪くないなと思い始めている。(Saturday, November 12, 2011)

輸送・ロジスティクス事業を担当する。[Wikipedia]

²⁴ボン【Bonn】ドイツ西部の都市。西ドイツ時代の首都。ノルトライン-ヴェストファーレン州のライン川沿岸に位置する。ボン大学、ベートーヴェンの生家などがある。人口 30 万 1 千 (1999) 【広辞苑第 6 版】

²⁵ベルリン【Berlin・伯林】ドイツ北東部の都市。1945 年までドイツの首都。第二次大戦後、アメリカ・イギリス・フランス・ソ連 4 カ国の共同管理下におかれ、1948 年以来東部はドイツ民主共和国（東独）の首都、西部は実質上ドイツ連邦共和国（西独）の一部。90 年、東西ドイツの統一によりドイツ連邦共和国の首都。人口 338 万 7 千 (1999) 【広辞苑第 6 版】

²⁶http://www.lagaceta.com.ar/fotos2/2010/8/18/39410249-Imagen-1960-beatles-hamburg_germany.jpg



DHL の輸送機²⁷

²⁷ <http://www.flickr.com/photos/ackook/721863669/sizes/l/in/pool-27281242@N00/>

未来への架け橋

塚本美紀

先週の金曜日、ベトナムの高校生20名が私の勤務する高校にやってきた。授業や生徒との交流会に参加してもらったり、茶道や書道の体験をしてもらったりした。どの生徒も、礼儀正しく、簡単なことは英語で十分通じるし、片言の日本語も話す。

一日、学校での体験を終えた後は、うちの生徒との合宿で、近くの山の中腹にあるログハウスに行った。ベトナムの生徒20名と日本の生徒16名で、行きの貸し切りバスの中から大賑わいだ。

二つのグループに分かれ、一つのグループは夕食作り、もう一つのグループは夕食のテーブルセッティングをしてもらった。夕食作りは家庭科の教員に任せ、私はテーブルセッティングを担当。「40名がいい感じで食事できるよう、テーブルと椅子を並べてね。」とだけ指示すると、「みんなの顔が見えた方が良くない? Big square!」などと言いながら、今年入学したばかりのうちの女子生徒が音頭を取っている。折りたたみのテーブルと椅子をみんなで手際よく並べ、見事に「いい感じ」のテーブルセッティングが出来上がった。

夕食が出来上がるまでは少し時間がある。一緒に引率してくれたALTが折り紙を持ってきていて、大きなテーブルのあちこちで即席折り紙教室が始まった。

夕食の配膳は何も指示しないでおくと、日本の生徒がベトナムの生徒のお箸の並べ方が違うことに気付いた。日本人はテーブルに水平に置くが、ベトナムの生徒は垂直に並べていた。日本の生徒たちは、どちらに揃えるかしばらく話し合っていたが、結局「どっちでもよくない?」ということになり、配膳は日本とベトナムの混合方式となった。

ベトナムの生徒が大浴場に慣れていないことは聞いていた。しかし、これもお風呂の時間だけ指示して、あとは知らんぷりをしていたのだが、日本の生徒がベトナムの生徒と連れ立って次々に浴場にやってきて、仲良く入っていった。翌日、ベトナム人の先生に聞いたのだが、お風呂はどうなることかと心配していたけど、案外すんなりいって驚きましたとのこと。案ずるより産むが易し、ですね。

就寝時間は10時30分だが、若者がそんな時間に眠れるはずもない。ログハウスは私たちの貸し切りなので、部屋から話し声がするのは大目に見て、私はそうそう床につき、翌朝の起床時間まで熟睡してしまった。後で聞いた話だが、男子の部屋も女子の部屋もそれぞれ大いに盛り上がり、辞書を片手に、英語や日本語や漢字を交え、学校のことや、普段の生活のことなど、夜中過ぎまで話していたとのことである。

たった一泊の合宿だったが、生徒たちにとっては、とてもインパクトのある体験だったようで、翌日には参加した生徒が次々にやってきて、「次にこんなイベントがある時も、教えてくださいね。」「ベトナム

の子たちが英語が上手なのには驚きました！それに、日本語とかフランス語も話せる子もいたんですよ！！」「ベトナムって遅れてる国っていうイメージがあったけど、印象が変わりました。」「もっと英語を話せるようになるには、どうしたらいいんですか？」などと言う。彼らの異文化への心が少し開かれたことは、英語の教師として本当に嬉しい。もちろん、彼らの「英語学習熱」ができるだけ続くことも願っている。

先日、ベトナムの生徒たちは日本での滞在を終え、帰国したとの連絡を受けた。うちの生徒たちが送っていたメールにも次々に返信が届いているようだ。Facebook でも、早速やりとりが始まっているようだ。そんな若い彼らが未来の社会を作っていく。今回の合宿が、そしてこれから続くメールや Facebook でのやり取りが、未来への架け橋のしっかりとした基礎になってくれればと思う。

旧友との再会

理事 山田昌子

どういふわけか、今夏以来、海外の友人が毎月のように訪ねて来る。昨年や一昨年はこのようなことは全くなかったのに、今年は友引の年なのだろうか。サンフランシスコ留学中の友人、様々な勤務校で共に働いたもとAET²⁸、昨年度までの勤務校のシンガポール研修旅行でお世話になった10年来の友人など。もともと、ビザや飛行機の関係、また紅葉の京都に滞在するホテルがとれず、来日を取りやめなければ行けなくなった友人たちもいるので、もしすべての友人が来日されていたら、私は旧友との再会に忙しくて、悲鳴をあげていたかもしれないくらい・・・。

とはいえ、何年ぶりかで再会するのは、嬉しい！しかも、私の出身の京都で！京都を初めて訪れる友には、定番の金閣寺や清水寺、平等院等を案内するだけでなく、私の好きなあぶり餅²⁹や宇治茶や京菓子を一緒に味わうと一層楽しさが増す！京都を何度も訪問していたり、AETとして数年間滞在していた友人とは、共通の友人たちを呼んでの語らいも、また喜び！

アイルランド人のMさんも、最近来日された、もとAETのひとり。出会うと、ついこの間まで日本にいたかのように思うが、彼女曰く、日本は18年ぶりだと言う。私は、クリスマスカードやメール交換でよく連絡をとっており、また、2001年のACROSS/e-dream-sのイギリス研修の後には、ダブリンを訪れ夕食を共にしているので、彼女とのつきあいがそんなに長いなんて感じられない。

当時の勤務校では、AETを囲んで雛祭りや七夕、クリスマスと理由をみつけては、同僚の自宅に集まり、会食をしていたので、かつてのように同僚たちと食事することにした。彼女が18年ぶりなら、私たちも10年以上ぶりの再会。なつかしい顔と顔。久しぶりの日本語に戸惑いながら、英語と日本語が飛び交う中、わいわいやるのは、Mさんも楽しかったようだ。帰国後、"I had such a wonderful time in Japan. It was great to see everyone again. I have very fond memories of the party..."とメールが来た。

Mさんとは、その夕食の翌日、東福寺のお茶会や時代祭にも一緒に行った。二人で話す中、既にアラフォーとなったMさんが言った。「もうすぐ私の処女作が出版されるの。今は物書きに夢中なの。今回の京都旅行は、第2作のための取材旅行なの。」

芸術家だとばかり思っていた彼女が、作家に転身！とは意外だったが、それは昔からの密かな夢だったのだと言う。ひとつ小説を



²⁸ Assistant English Teacher

²⁹ 今宮神社の名物。東門前の茶店「かざりや」「一和」の2件の茶店で販売されている。きな粉をまぶした小餅を竹串にさして炭火であぶり、白味噌のたれをかけた素朴なお菓子。

<http://tabitano.main.jp/7itiwa.html>

書いてみて、ある出版社に見せると「なかなかいいね、出版しよう！」ということになったのだと言う。

Mさんは、AETとして来日し、日本に影響され、帰国しても日本のことは忘れなかったので、小説を書き始めると、どうしてもかつて住んでいた京都が端々にでてしまう。でも、だからこそ、小説を書きたいと思うし、書き続けたいと言う。

物静かなMさんのどこにそんなエネルギーが潜んでいるのかとちょっと驚いてしまったが、自分がやりたいこと、したいことに、蓋をして我慢する必要はない。チャンスがあれば、目的に向かって前進するのみ・・・。「処女作、できたら絶対読むね！」と言いながら、私はMさんのような大きなエネルギーがあるのだろうか、前に進もうと努力しているのだろうか、自分におきかえて考えた。

旧友との再会は、過去を振り返るだけではなく、現在の自分、そしてこれからの自分をみつめるきっかけにもなる。久しぶりに出会うからこそ感じられる、友人たちの素敵な姿。今も、そして未来もポジティブに生きる、そんな友人たちが好きだし、私自身もそうありたいと願う。

<編集後記> さっそく e-dream-s サイトの「カンボジア教育支援事業 SEEC (Supporting English Education in Cambodia) 教科書支援プロジェクト」のページを見ました。臨場感あふれる写真の数々から、e-dream-s の支援活動が生き生きと伝わってきます。会員のみならず、是非このページを身近な人にも見せて私たちの活動を紹介し、支援の輪を広げましょう。 (道面和枝)